

柵田には夢がある!～柵田の価値を知り・活かし・継承するために～ 離島初、第22回全国柵田(千枚田)サミットが開催されました



分科会のような様子



現地視察の様子(小倉千枚田)

7月14日(木)、15日(金)の2日間にわたり、アミューズメント佐渡をメイン会場に「第22回全国柵田(千枚田)サミット」が開催されました。離島では初めての開催となった同サミットには、島内を含め全国の柵田保全に取り組む地域や団体約700人が参加しました。

初日は、(株)日本総合研究所主席研究員の藻谷浩介さんが「日本を変える里山のチカラ」と題して講演されたほか、分科会や全体交流会が行われました。

2日目は、それぞれ特徴のある佐渡の柵田を現地の方と交流しながら視察することで、あらためて柵田の価値を感じていただけの内容となりました。

今回のサミットでは、U30(アンダーサーティ)柵田サミットの開催や、分科会の議論を踏まえ、サミット共同宣言を当日にまとめるなど、初めての試みが多く見られ、参加者は柵田の価値を見直すとともに、柵田の持続可能性を高める活動などについて、議論を深めました。

お問い合わせ

市役所農林水産課農業政策室
生物共生推進係

☎ 63-5117

日本美術刀剣保存協会会長賞を受賞

6月14日(火)、刀匠の新保基治さん(佐渡市梅津在住)が公益財団法人日本美術刀剣保存協会の主催する平成28年新作名刀展において、短刀・剣の部で会長賞を受賞されました。

新保さんは、佐渡の刀匠として、ほとんど独学で勉強した後、故佐藤寒山先師の取りなしにより、人間国宝・故宮入行平の門下に入り、作品のほとんどが入賞に名を連ね、昭和62年には、毎日新聞賞の特賞を受賞されています。

また、佐渡博物館に保管されている刀の手入れの指導をお願いしており、市の工芸品・美術品の保護に協力していただいている方です。



7月12日、三浦市長に受賞の喜びを伝える新保さん

お問い合わせ

佐渡博物館 ☎ 52-2447

イベント情報

月日	時間	イベント名
8月14日(日)～16日(火)	14時開演	郷土芸能鑑賞会
8月20日(土)	11時～17時	佐渡酒祭り
	13時～	そうだ!佐渡へ行こう!!
8月27日(土)	12時～(予定)	さどの島銀河芸術祭オープニングイベント
8月28日(日)	10時～12時	クリエイティブサマーキャンプ2016 作品発表会

あいぽーと佐渡は、「みなとオアシス佐渡両津」の認定を受け、佐渡の玄関口である両津港周辺地域の賑わい創出を行っているほか、会議、セミナー、イベント等の会場として幅広く活用されています。

あいぽーと佐渡
Sado Information Center 情報

お問い合わせ

佐渡インフォメーションセンター
「あいぽーと佐渡」 ☎ 67-7633